

平成28年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成28年12月1日(木) 北海道防衛局4F第1・2会議室
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 名誉教授) 木下委員(公認会計士) 津田委員(弁護士) (50音順)

I 防衛省発注機関が発注する建設工事等に関する審議

審議対象期間	平成28年7月1日～平成28年9月30日	
審議対象件数	37件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数 5件	(審議概要)
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件
	公募型指名競争	0件
	指名競争	0件
	企画競争	0件
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	3件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【指名停止状況説明】 (特になし)</p> <p>【低入札状況説明】 (特になし)</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事等 (政府調達協定対象外)</p> <p>①[北海道防衛局(28)千歳飛行場周辺地区撫育管理等工事]</p> <p>・低落札の状況が続いているが、理由は何か。</p>	<p>・落札業者から聞き取ったところによると、地元の業者であり実績もあることから、工事の内容を承知しており、現場が会社から近いため経費が抑えられ、</p>

意見・質問	回答
<p>・予定価格はどのように積算しているのか。</p> <p>・同じ場所での工事に拘わらず毎年、金額が変わるのはどのような理由か。</p> <p>・毎年、低落札が続いているのは、予定価格が高すぎるのではないのか。</p> <p>・歩掛、基準により積算した価格が、企業努力を織り込んだ上での価格とすれば、低落札が続いていることを考えると、基準自体の合理性に問題があるが。</p> <p>・歩掛や基準が整備されている案件については、市場価格調査だけで積み上げることは許されないのか。</p> <p>・（低落札が続いていることから）歩掛による基準価格に市場価格の減額要因を考慮して、予定価格を算定できないのか。そうすれば応札の実態に近づき、低入調査等の負担も軽減出来るのではないか。</p> <p>②[千歳外（28）ろ過機更新機械その他工事]</p> <p>・1者しか参加しなかった理由は。</p>	<p>更に、公共工事を受注したいという意欲が強いことから、利益を抑えて入札していると聞いている。この状況が、連続している。</p> <p>・積算方法としては、北海道庁制定の森林土木の公共工事歩掛を使用している。 単価は、密集度、大きさなどで分類された市場単価があり、それを使用している。</p> <p>・同じ場所での工事であるが、適正な維持・管理のため、例年伐採本数等が変わるためである。</p> <p>・公となっている歩掛、基準により積算しているので、予定価格が高いと言うよりは、企業による努力が強く働いているためと思われる。</p> <p>・歩掛等で積算価格を積み上げる場合、企業努力の部分を低減する根拠がないので減額できない。</p> <p>・市場（見積）価格だけで積算することになると、市場価格調査が適正かどうか問題となり、それだけの調査をする権能が我々にはないので、公となっている歩掛等を使用することとなる。</p> <p>・公共事業において、基準、歩掛等が整備されている場合は、それらを使用して算定することが前提となっている。</p> <p>・契約後に本工事の仕様書等を入手した業者に確認したところ、「技術者の不足により本工事に配置できる技術者の手配が出来なかったため、入札参加を見合わせた」と聞いている。また、千歳及び当別地区においては、当該級の有資格者が少ない状況である。</p>

意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・特殊な工事ではないのか。 ・落札率が高いが、予定価格はどのように決めているのか。 ・高落札になった理由は。 ・ろ過機の更新は、何年ぐらいで更新しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事としては、ろ過機の更新という一般的な工事内容で、特殊な工事ではない。 ・機器類はメーカーから徴取した見積りを査定し、積算に反映している。その他は公共工事の標準歩掛を使用して積算している。 ・契約後、受注者に確認したところ、当初の入札金額は改修工事ということから不確定な要素があったが、1回目の入札後、局から補足説明を受け、これらの要素を精査できたとのことであり、結果として高落札となったと思われる。 ・通常、ろ過装置は約15年から20年ぐらいで更新している。今回更新するろ過装置は、20年以上経過している。
<p>③[北海道防衛局（28）資材価格調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる業者は全体で2者だが、もう1者は入札に参加しないのか。 <p>④[北海道大演習場（28）道路整備基本検討]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者辞退したのは、どの時点か。 ・簡易公募型プロポーザル方式の場合、落札率が100%に近くなるのか。 ・予定価格は、どのように算出しているのか。 ・技術提案書を特定する際に、業者の見積価格を考慮するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に、入札参加したところのある者に確認したところ、調査を行うためには調査体制が重要である。このため、一度調査を離れてしまうと、調査体制の再構築が必要となるため、価格的に折り合わないことから、参加を見送ったとのことであった。 ・技術提案書を提出する際に、参加表明者3者中1者が辞退した。 ・公募時の募集資料において、業務量の目安として参考概算額を明示していることから、落札率は高くなる傾向にある。 ・基本的には、当省の歩掛を用いて算出しているが、一部歩掛のない部分については、見積りを徴取して査定している。 ・技術提案書の特定は、提案内容の優劣のみで判断しており、見積価格を評価対象にはしていない。

	意見・質問	回答
	<p>⑤[標津(28)津波シミュレーション調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波シミュレーションでは、何を調査するのか。 ・この結果で、部隊工事をすることがあるのか。 ・津波シミュレーション調査は初めて実施するのか。 ・この予定価格は、歩掛等基準等を使って算定しているのか。 ・予定価格の基礎になった会社はどこか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・震源から来る津波の到達時間、高さ、漂流物の流れ方等について、数値シミュレーションを行う。 ・部隊の管理者が、施設の重要度によって対策工事の検討を行う等、津波被害に対する施設の整備計画を策定するための調査である。 ・全国的には実施しているが、支局では初めての案件である。 ・資料収集、計算、報告書作成等の業務があり、全て見積りを採用している。 4者から見積りを徴取し、提出された内訳の人工数量を使用し、予定価格を算定している。 ・落札業者である。 <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
談合疑義件数		－ 件	(審議概要) ・該当案件なし
工事	談合情報	－ 件	
	点検結果疑義	－ 件	
業務	談合情報	－ 件	
	点検結果疑義	－ 件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・特になし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・特になし	
3 入札結果の事後的統計について			
審議概要		・順位傾向、落札率、応札率及び低落札について説明	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・特になし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		・特になし	